

移動解体を行うための技術的検討について（案）

1. 対象となる焼却炉について

（１）焼却炉の大きさ等

大型貨物自動車等に積み込めるぐらいの大きさ、重量か。形状は適しているか。

（２）処理能力等

火床面積が 2 sqm を超え、又は焼却能力が 200 kg/hr を超えるか。

→法第 88 条第 4 項の届出

（３）状態

底盤はあるか。煙突は一体か、連結されているか。老朽化していないか。

→作業手順、吊り上げ時の飛灰飛散防止措置に影響

2. 作業方法について

（１）飛灰飛散防止のための事前養生

仮囲いの仕方、焼却炉の養生手順、煙突の取り外し、切断

（２）焼却炉の吊り上げ

飛散防止措置、落下事時の対応

（３）運搬

特別管理物質の公道における輸送は、廃掃法によること。

残留部品等の積残しの有無

3. 中間処理場での付着物除去作業

（１）搬入手順、経路

（２）作業環境における空気中のダイオキシン類の濃度測定

（３）除去作業

（４）飛散防止措置

（５）請負関係の留意事項

4. その他

（１）施設管理者と解体工事事業者との関係（残留灰の処理を含む）

（２）解体工事が完了したことの確認